

## 食品安全モニター課題報告

### 「食品安全委員会から入手した情報の利用等について」（平成26年2月実施） の結果（概要）

- 食品安全委員会は、大学等で食品に関係の深い学問を履修した者や食品に関係の深い資格（栄養士等）を有する者、食品安全に関する業務の経験がある者等470名を食品安全モニター（以下「モニター」という。）として依頼している。
- 課題報告とは、モニターに対して毎年度2回行っているアンケート調査である。今回は、平成25年度の第2回目のもの。
- 今回の有効回答数381名のうち、男性は214名、女性は167名。また職務経験は、食品生産・加工経験者118名、食品流通・販売経験者61名、研究職経験者36名、医療職経験者33名、教育職経験者28名、食品関係行政経験者23名、これらに該当しない消費者82名となっている。
- 今回の調査においては、食品安全委員会から入手した下記の情報A～D※1の家族等への提供の有無、「家族に話したことがある」情報A～Dについて、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報等について質問を行った。

#### ※1：情報A～D（以下、本調査において「4種類の情報」という。）

##### 情報A（以下【一般情報】という。）

「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

##### 情報B（以下【行政取組情報】という。）

リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

##### 情報C（以下【特定ハザード情報（会議）】という。）

モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザード※2や個別の食品健康影響評価に関する情報

##### 情報D（以下【特定ハザード情報（会議以外）】という。）

情報C以外の、特定のハザード※2や個別の食品健康影響評価に関する情報

※2：農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。

## 【調査結果（概要）】

### ① 家族又は友人等に対する4種類の情報（この概要において「各情報」という。）の提供の有無について

平成25年4月以降、モニターから家族に対して、又は友人・隣人・職場の同僚等（以下「友人等」という。）に対して、4種類の情報について話したことの有無を尋ねたところ、「何度も話している」及び「話したことが1～3回程度ある」の合計は、一般情報については家族、友人いずれに対しても約9割、その他の3情報についても家族、友人いずれに対しても約6割であった。

このように、モニターからは、周囲の方々に一定程度、情報提供がされていると考える。＜問1及び問4関係＞

### ② 家族又は友人等に各情報を提供する際に役立ったものについて

モニターから家族又は友人等に対して各情報について話した際に役に立ったものは、一般情報及び行政取組情報について話す際には「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレットから得た情報」（家族、友人いずれに対しても7割前後）が、「特定ハザード情報（会議）」について話す際には「モニター会議に出席して得た情報」（家族、友人いずれに対しても約7割）が、回答として最も多い。＜問2及び問5関係＞

### ③ 家族又は友人等に各情報について話したことがない理由について

①において、家族又は友人等に話したことがないと答えたモニター（一般情報については1割程度、その他の3情報については3割から4割程度のモニターがこれに該当する。）にその理由を尋ねたところ、家族については各情報とも「家族が興味を持っていないから」との回答が最も多かった。また、友人等に一般情報を話したことがない理由は、「機会があれば話したいが、機会がないから」が多い一方で、その他の3情報では、「周りが興味を持っていないから」との回答が最も多かった。＜問3及び問6関係＞

### ④ 各情報について、地域活動等の場での説明・講演経験等について

モニターになって以来、地域活動の場での説明や講演など、モニターが主な話し手となって3人以上の方に対して自身の知識等を伝える場を持った経験の有無について尋ねたところ、「何度も説明・講演等を行ったことがある」、「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答の合計は、一般情報については約5割が、その他の3情報については約3割であった。回答のあったモニターの約5割の者が、このような場を持った経験を有している。

また、その際に、配布等したことで相手の理解が深まった資料は、一般情報につ

いては「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」、その他の3情報については「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど）」という回答が最も多かった。また、各情報で、モニターが「自分で作成した資料」との回答が4割程度あった。〈問7及び問8〉

⑤ 食品安全委員会から情報の提供があれば、家族や友人等に、もっと話したいと思うテーマ

「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」、次いで、『食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる』、『様々な食材をバランスよく食べることが重要である』といった食品の安全性に関する一般的なことがそれぞれ7割近く、食品の安全性に関する一般的な事項や、食中毒を起こさないための知識について、周囲に情報提供したいというニーズがあると考えられる。

〈問9関係〉

## 食品安全モニター課題報告

「食品安全委員会から入手した情報の利用等について」（平成 26 年 2 月実施）の結果（要約）

### 1. 調査目的

食品安全委員会では、食品安全モニターの方を対象に、食品の安全性に関する情報等について、平成 26 年 2 月 14 日から 2 月 25 日を調査実施期間として、食品安全モニター 470 名を対象に調査を実施した。（有効回答数 381 名（81.1%））

### 2. 調査項目

調査項目は、次の 2 項目である。

#### 1) 食品安全委員会から入手した情報の利用について

（食品安全委員会から入手した情報 A～D<sup>※1</sup>の家族への提供の有無、「家族に話したことがある」情報 A～D について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報等）

#### 2) 食品安全モニター会議においてのグループ討議について

（平成 25 年度の食品安全モニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ）

※1：情報 A～D

**情報 A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報（以下「一般情報」という。）

**情報 B** リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報（以下「行政取組情報」という。）

**情報 C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザード<sup>※2</sup>や個別の食品健康影響評価に関する情報（以下「特定ハザード情報（会議）」という。）

**情報 D** 情報 C 以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報（以下「特定ハザード情報（会議以外）」）

※2：農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。

### 3. 実施期間

平成 26 年 2 月 14 日から 2 月 25 日

### 4. 対象

食品安全モニター	470 名
有効回答数	381 名（有効回答率：81.1%）

## 5. 食品安全モニターの回答者数の内訳

### ① 男女別、年齢別

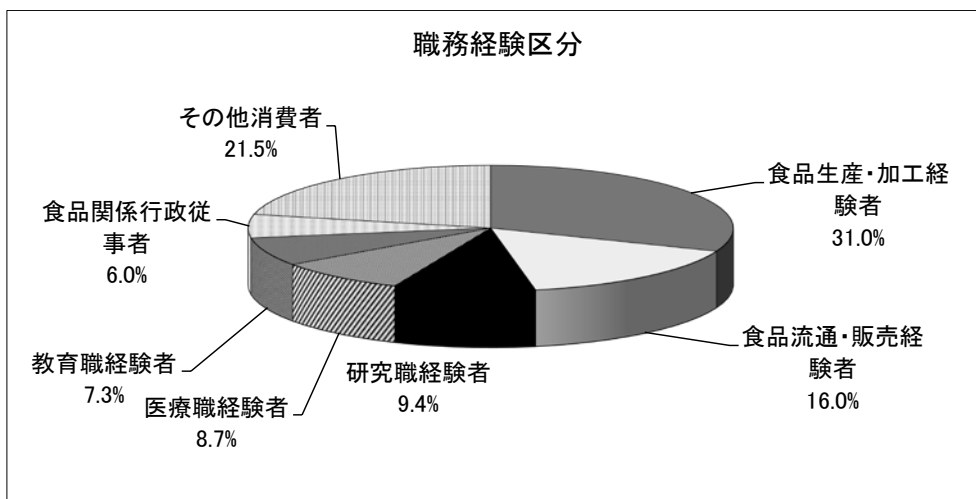
	男性	女性	人数計	割合
20～29 歳	3 人	4 人	7 人	1.8%
30～39 歳	22 人	39 人	61 人	16.0%
40～49 歳	37 人	61 人	98 人	25.7%
50～59 歳	56 人	42 人	98 人	25.7%
60～69 歳	79 人	16 人	95 人	24.9%
70 歳以上	17 人	5 人	22 人	5.8%
全体	214 人	167 人	381 人	-
割合	56.2%	43.8%	-	100.0%

### ② 職務経験区分別

食品生産・加工経験者	・現在又は過去において、食品の生産、加工に関する職業（調理従事者を含む）に 5 年以上従事している方	118 人 (31.0%)
食品流通・販売経験者	・現在又は過去において、食品の流通、販売等（会社、団体の役員を含む）に関する職業に 5 年以上従事している方	61 人 (16.0%)
研究職経験者	・現在又は過去において、試験研究機関（民間を含む）、大学等で食品や、食品の安全に関する研究の経験を 5 年以上有している方	36 人 (9.4%)
医療職経験者	・現在又は過去において、医療等に関する職業（医師、獣医師、薬剤師等）に就いた経験を 5 年以上有している方	33 人 (8.7%)
教育職経験者	・現在又は過去において、教育に従事した経験を 5 年以上有している方	28 人 (7.3%)
食品関係行政従事者	・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を有している方	23 人 (6.0%)
上記の項目に該当しない食品安全モニター（文中「その他消費者」） <sup>※3</sup>	・上記の項目に該当しない方	82 人 (21.5%)

※<sup>3</sup> 食品安全モニターは、モニター活動を行う上で、食品安全委員会が行うリスク評価や食品安全行政について一定の理解ができる必要があることから、次の条件のいずれかを満たしていることを応募資格としている。

- [1] 大学等で食品に関係の深い学問（医学、歯学、薬学、獣医学、畜産学、水産学、農芸化学、家政学、食品工学等）を専攻し修了した方
- [2] 食品に関係の深い資格（栄養士、管理栄養士、調理師、専門調理師、製菓衛生師又は食品衛生管理者その他の事務局長が適当と認めるもの）を保有の方
- [3] 食品安全に関する業務を業としている方若しくはしていた方又は常勤公務員として食品の安全に関する行政に従事していた方（平成25年4月1日現在常勤の公務員でないこと）

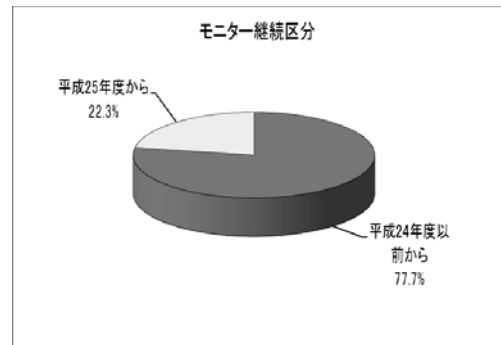


●男女別、年代区分別、職務経験別 内訳

	男女別		年代区分別			全体
	男性	女性	20～39歳	40～59歳	60歳以上	
食品生産・加工経験者	84人	34人	23人	66人	29人	118人
	39.3%	20.4%	33.8%	33.7%	24.8%	31.0%
食品流通・販売経験者	44人	17人	12人	27人	22人	61人
	20.6%	10.2%	17.6%	13.8%	18.8%	16.0%
研究職経験者	29人	7人	3人	18人	15人	36人
	13.6%	4.2%	4.4%	9.2%	12.8%	9.4%
医療職経験者	8人	25人	7人	17人	9人	33人
	3.7%	15%	10.3%	8.7%	7.7%	8.7%
教育職経験者	13人	15人	2人	15人	11人	28人
	6.1%	9%	2.9%	7.7%	9.4%	7.3%
食品関係行政従事者	17人	6人	2人	5人	16人	23人
	7.9%	3.6%	2.9%	2.6%	13.7%	6.0%
その他消費者	19人	63人	19人	48人	15人	82人
	8.9%	37.7%	27.9%	24.5%	12.8%	21.5%

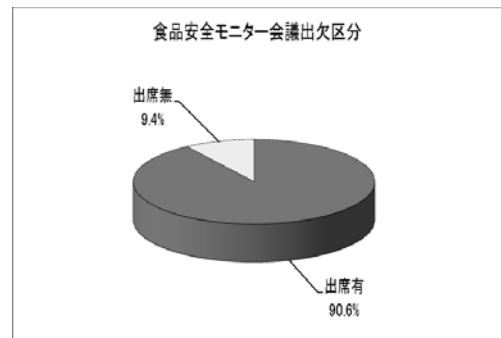
③ モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方  
296人 (77.7%)
- 平成25年度から、食品安全モニターに依頼された方  
85人 (22.3%)



④ 食品安全モニター会議出席区分別

- これまでに食品安全モニター会議に出席したことがある方  
345人 (90.6%)
- これまでに食品安全モニター会議に出席していない方  
36人 (9.4%)



## 1) 食品安全委員会から入手した情報の利用について

問 1～問 8 について、情報 A～D は次のものをいう。なお、情報 A～D をまとめて指す場合は「4 種類の情報」と表記する。

### 情報 A :

「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

【以下「一般情報」という。】

### 情報 B :

リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

【以下「行政取組情報」という。】

### 情報 C :

モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザード<sup>※4</sup>や個別の食品健康影響評価に関する情報

【以下「特定ハザード情報（会議）」という。】

### 情報 D :

情報 C 以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

【以下「特定ハザード情報（会議以外）」という。】

※4：農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。



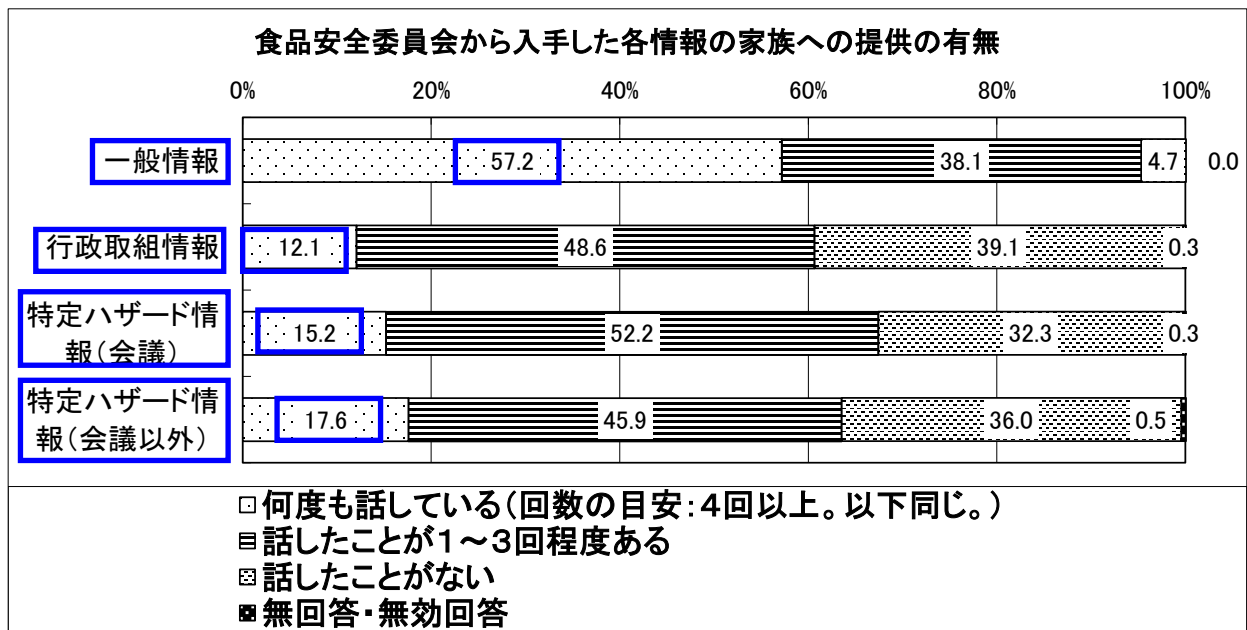
①食品安全委員会から入手した4種類の情報の家族への提供の有無（問1）

問1 あなたは平成25年4月以降、4種類の情報について、家族に話したことがありますか。情報ごとに、当てはまるものを選択肢1～3の中から1つずつ選んで下さい。

【選択肢】

- 1 何度も話している（回数の目安：4回以上。以下同じ。）
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない

- ◆ 一般情報について「何度も話している（回数の目安：4回以上。以下同じ。）」との回答割合は57.2%であり、行政取組情報（12.1%）、特定ハザード情報（会議）（15.2%）、特定ハザード情報（会議以外）（17.6%）に比べると高い。



## ② 4種類の情報について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報（問2）

問2 問1で、各情報のうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

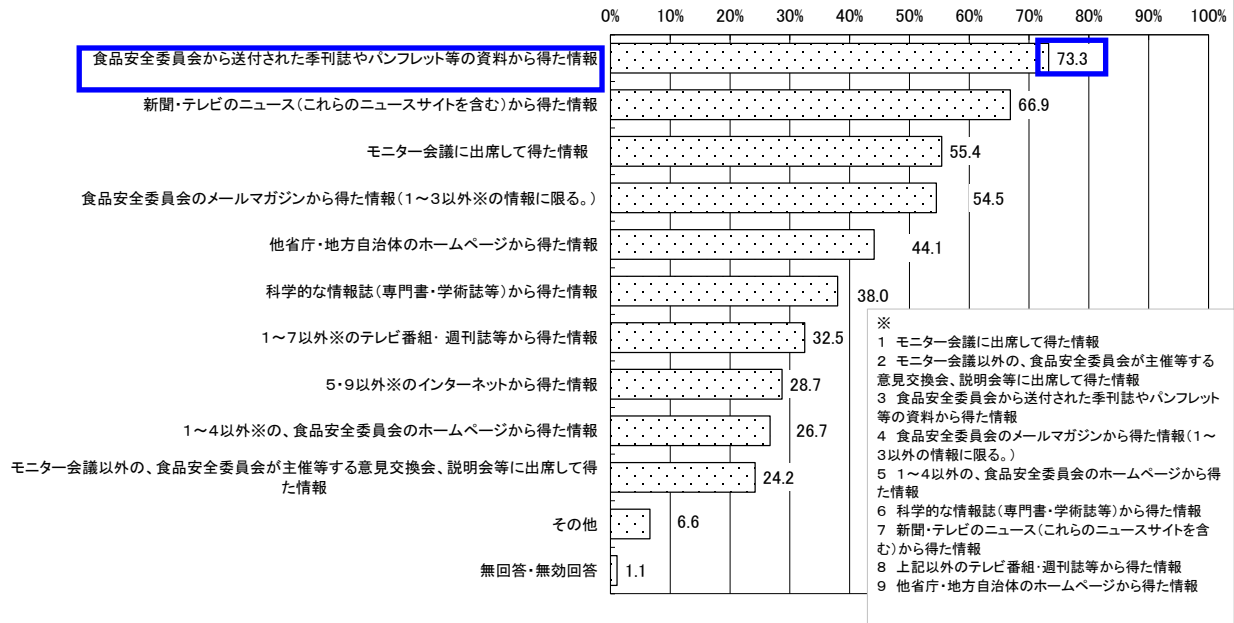
あなたが家族に対し、問1で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択したそれぞれの情報を話した際に、役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～11の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

### 【選択肢】

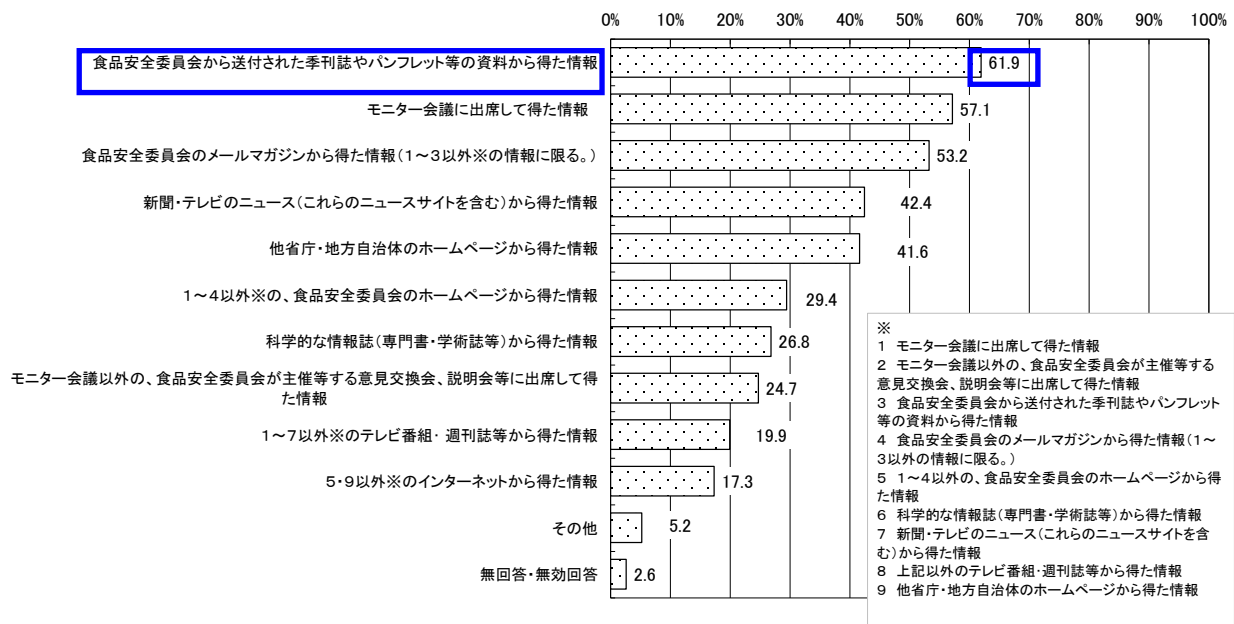
- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する意見交換会、説明会等に出席して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）
- 5 1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に記入）

- ◆ 一般情報及び行政取組情報について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。

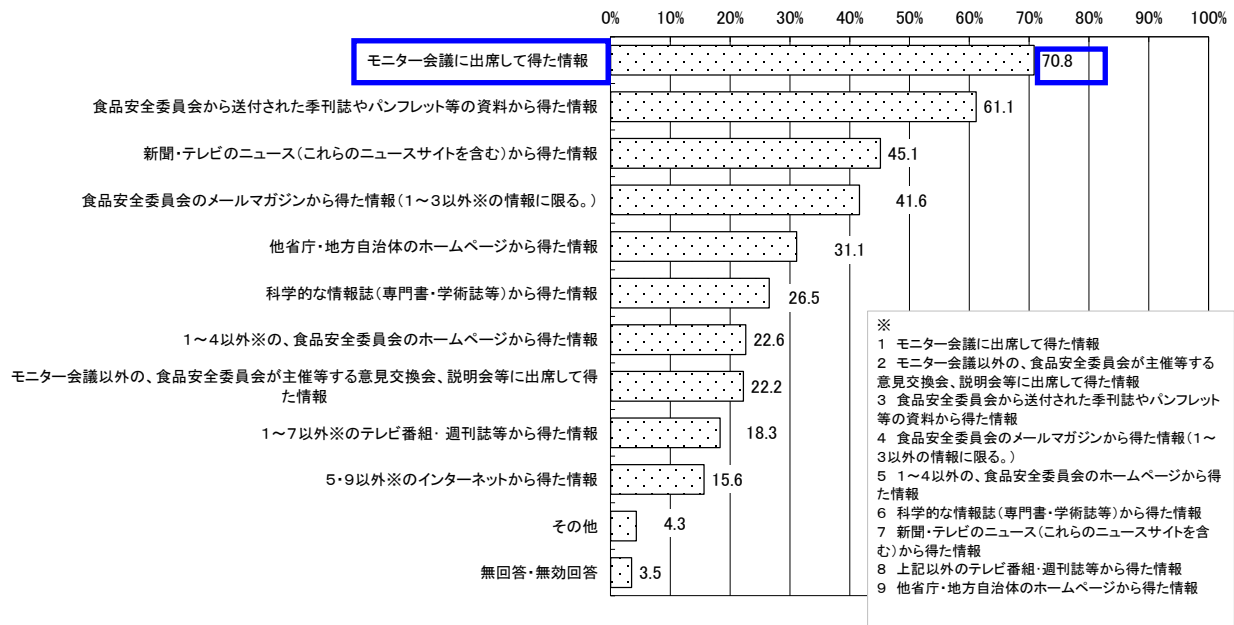
「一般情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報  
(n=363)



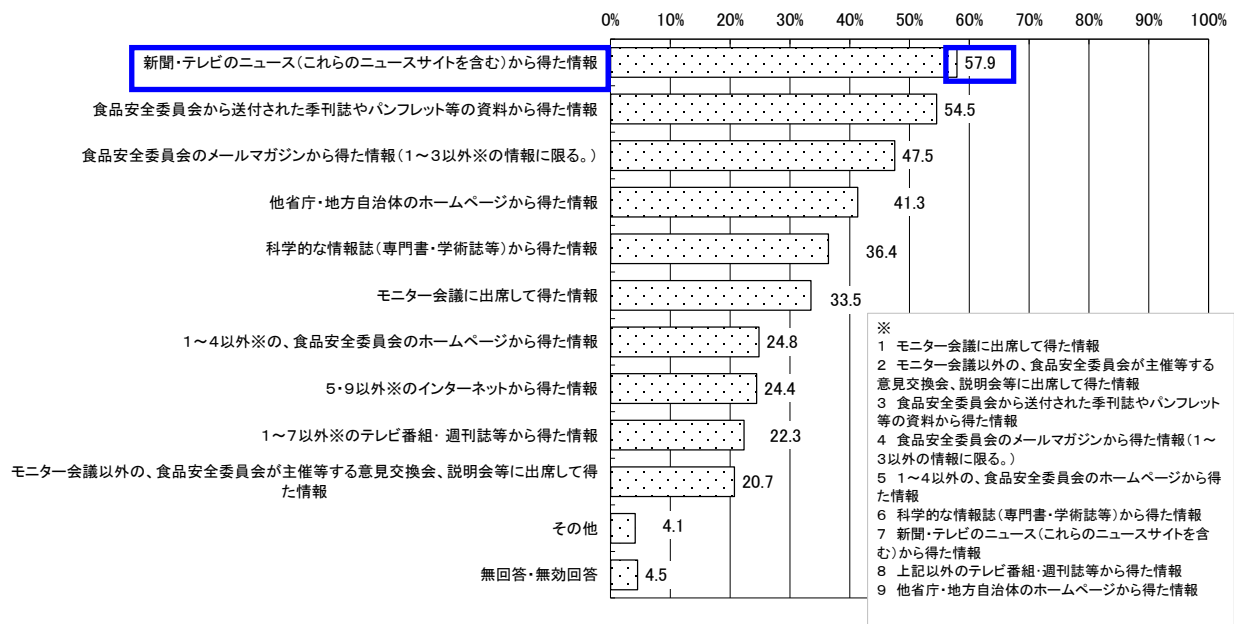
「行政取組情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=231)



「特定ハザード情報(会議)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=257)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=242)



### ③ 4種類の情報を、平成 25 年 4 月以降、家族に話したことがない理由（問 3）

問 3 問 1 で、4 種類の情報のうち、「3（話したことがない）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが問 1 で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成 25 年 4 月以降、家族に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢 1～7 の中からお選び下さい。

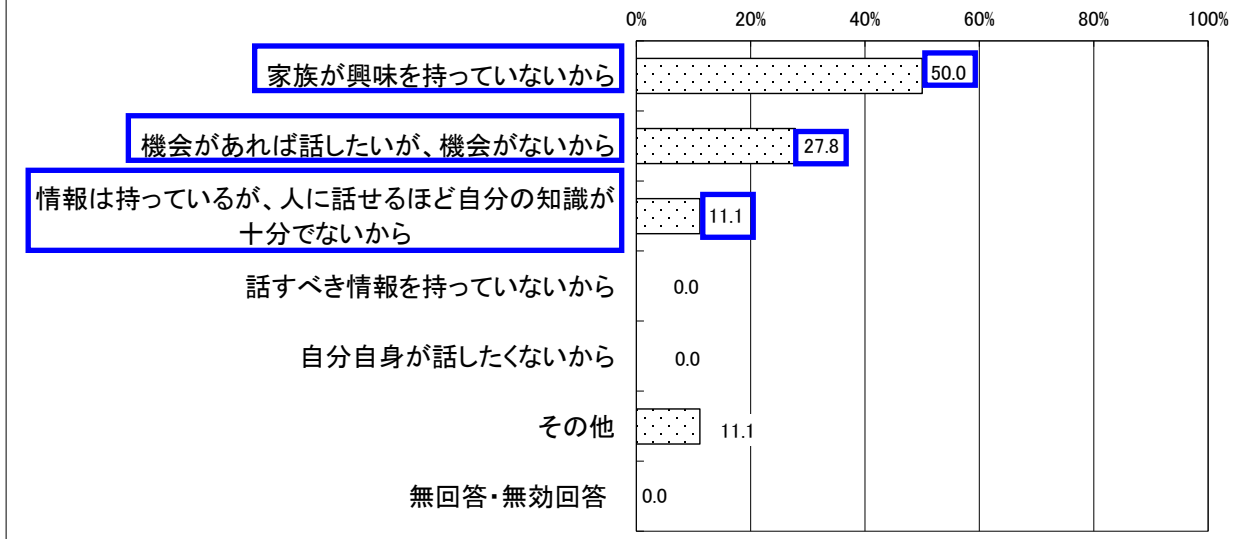
#### 【選択肢】

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 家族が興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない（情報 C のみの選択肢）
- 7 その他（具体的に記入）

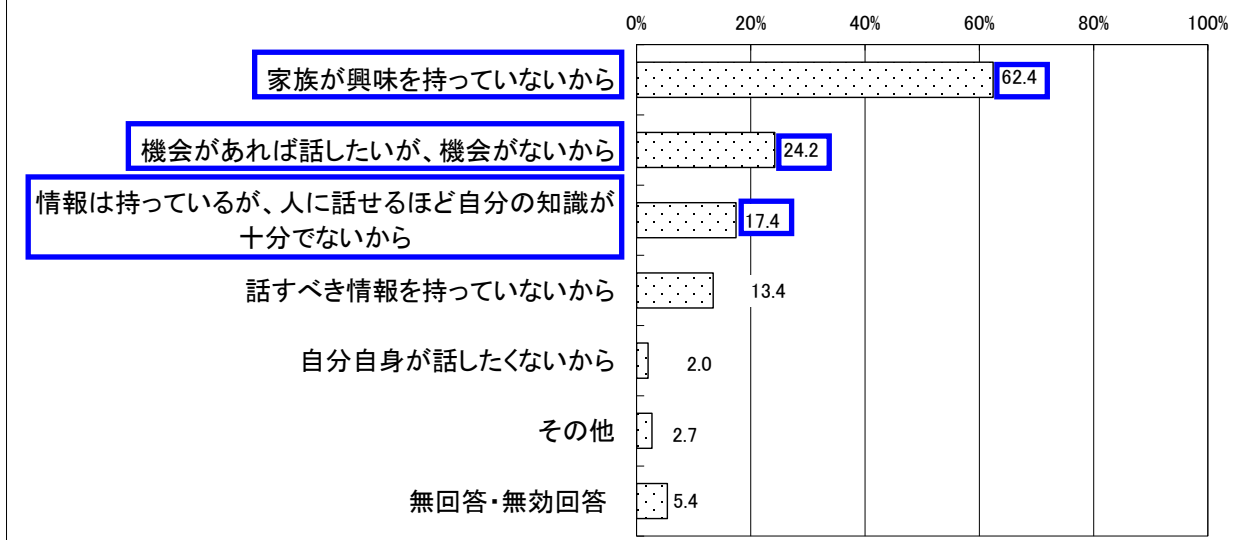
問 1 で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成 25 年 4 月以降、家族に話したことがない理由は、

- ◆ 4 種類の情報のいずれも、「家族が興味を持っていないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。
- ◆ 一般情報及び行政取組情報では、次いで、「機会があれば話したいが、機会がないから」、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないか」の順に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）では、次いで、「モニター会議や説明会に出席していないので、わからない」、「機会があれば話したいが、機会がないから」の順に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）では、次いで、「話すべき情報を持っていないから」、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」の順に高い。

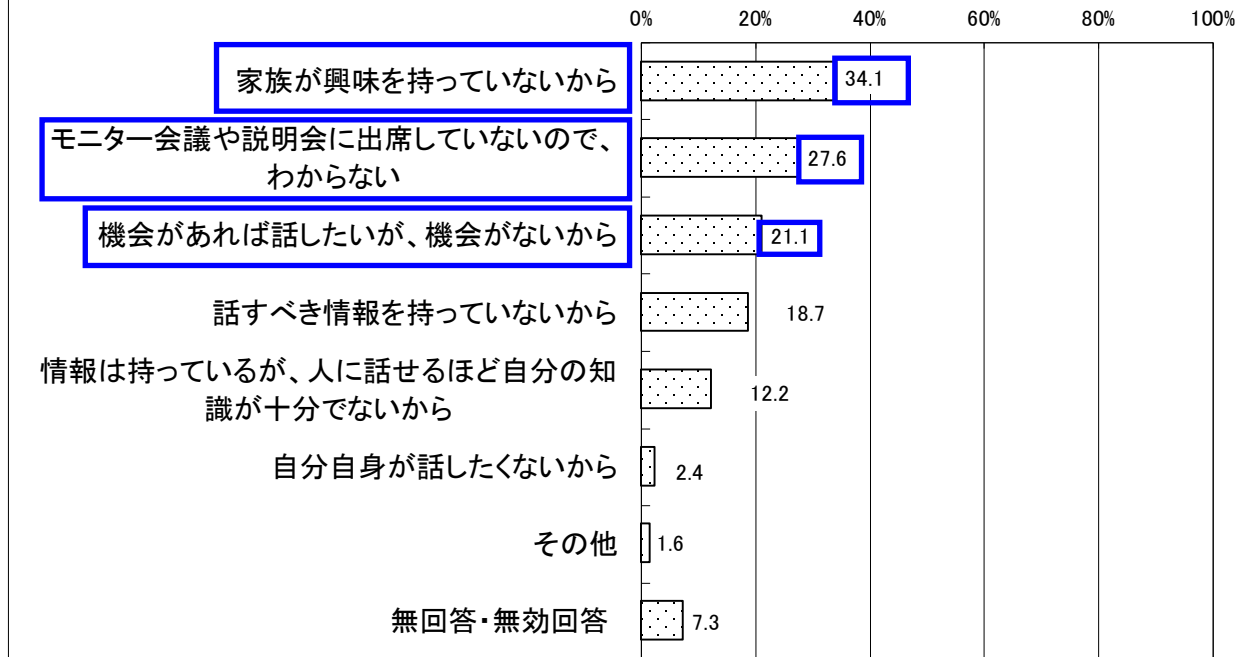
「一般情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=18)



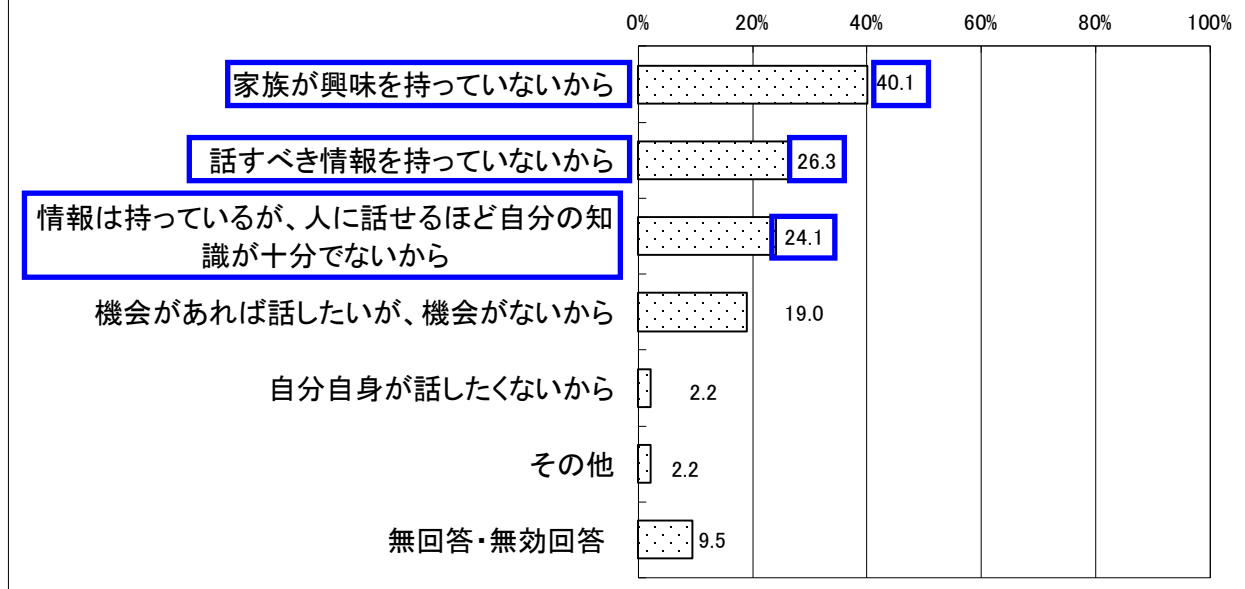
「行政取組情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=149)



「特定ハザード情報(会議)」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=123)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=137)



④食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等への提供の有無（問4）

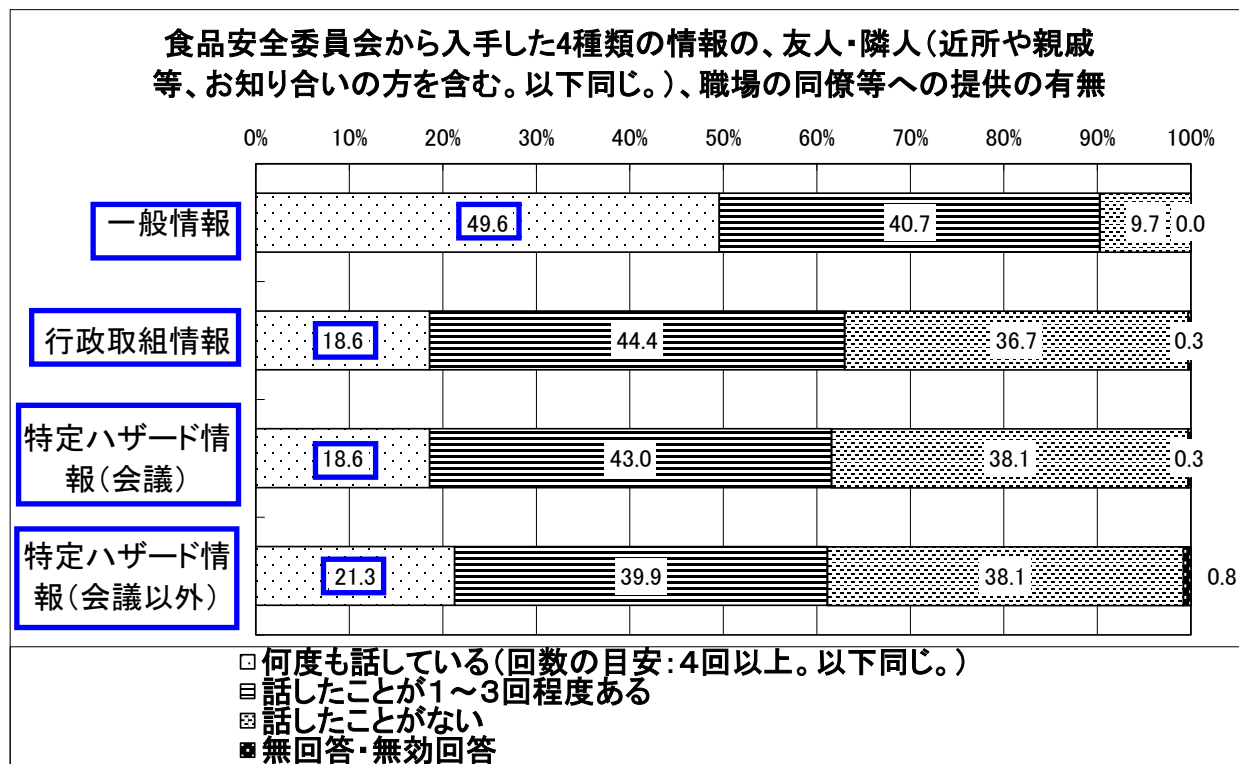
問4は全員お答え下さい。

問4 あなたは平成25年4月以降、4種類の情報について、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等に話したことがありますか。情報ごとに、当てはまるものを選択肢1～3の中から1つずつ選んで下さい。

【選択肢】

- 1 何度も話している
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない

◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合の合計は49.6%であり、行政取組情報（18.6%）、特定ハザード情報（会議）（18.6%）、特定ハザード情報（会議以外）（21.3%）に比べると高い。





⑤ 4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報（問5）

問5 問4で、4種類の情報のうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

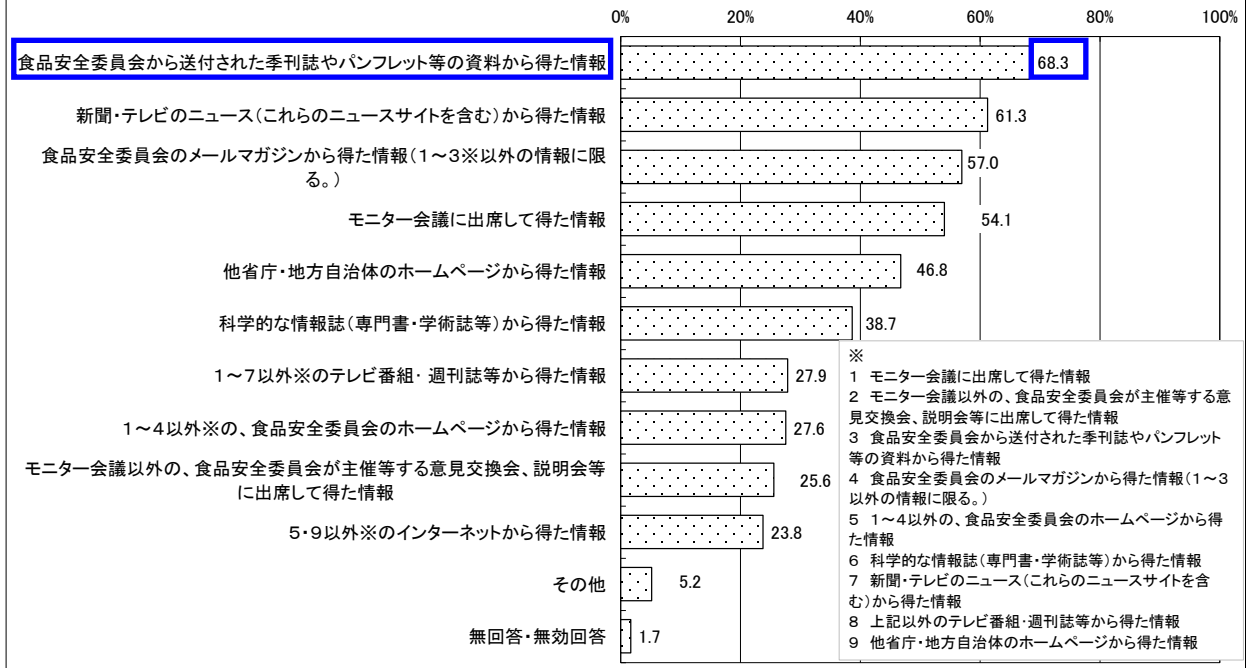
あなたが友人・隣人、職場の同僚等に対し、問4で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報を話した際に、あなたが役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～11の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

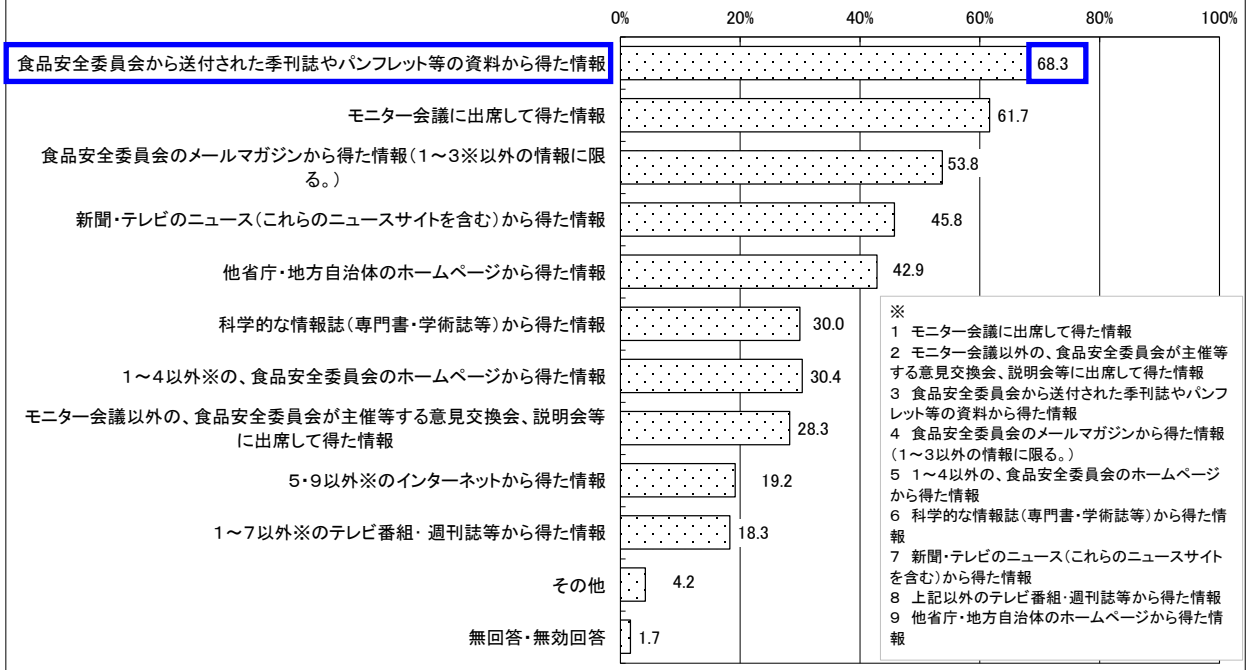
- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）
- 5 1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に）

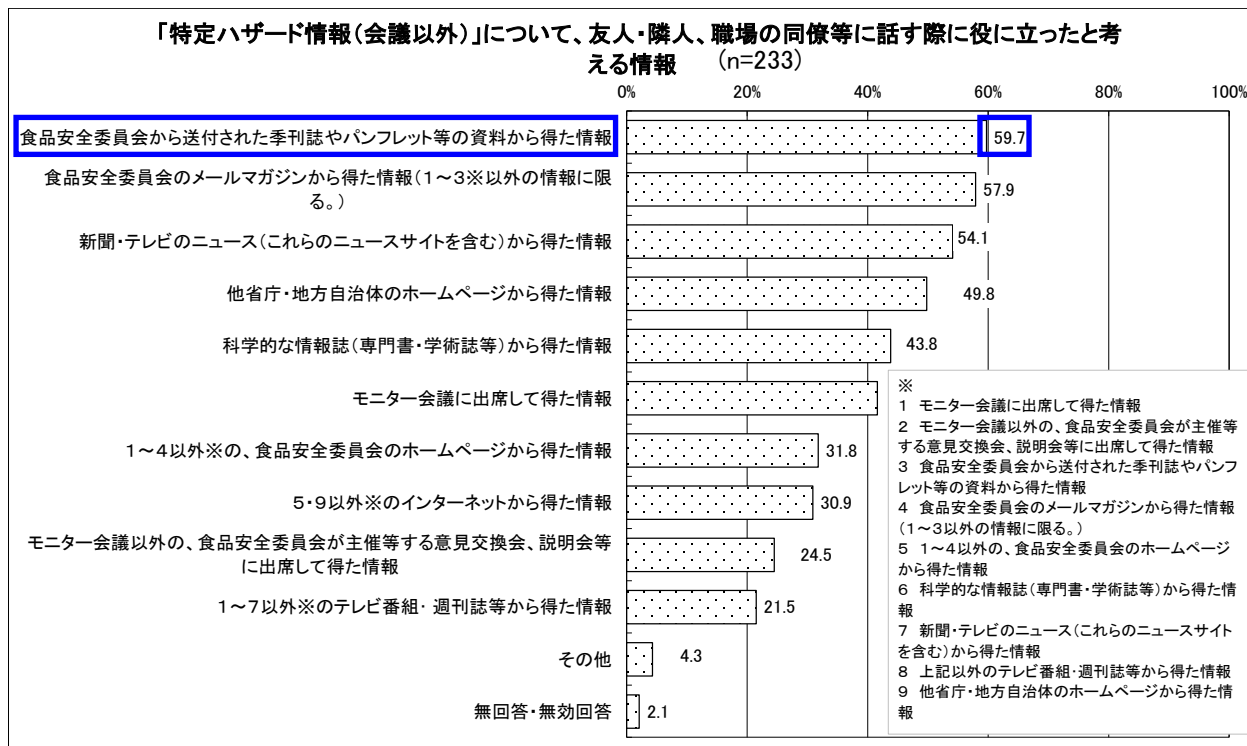
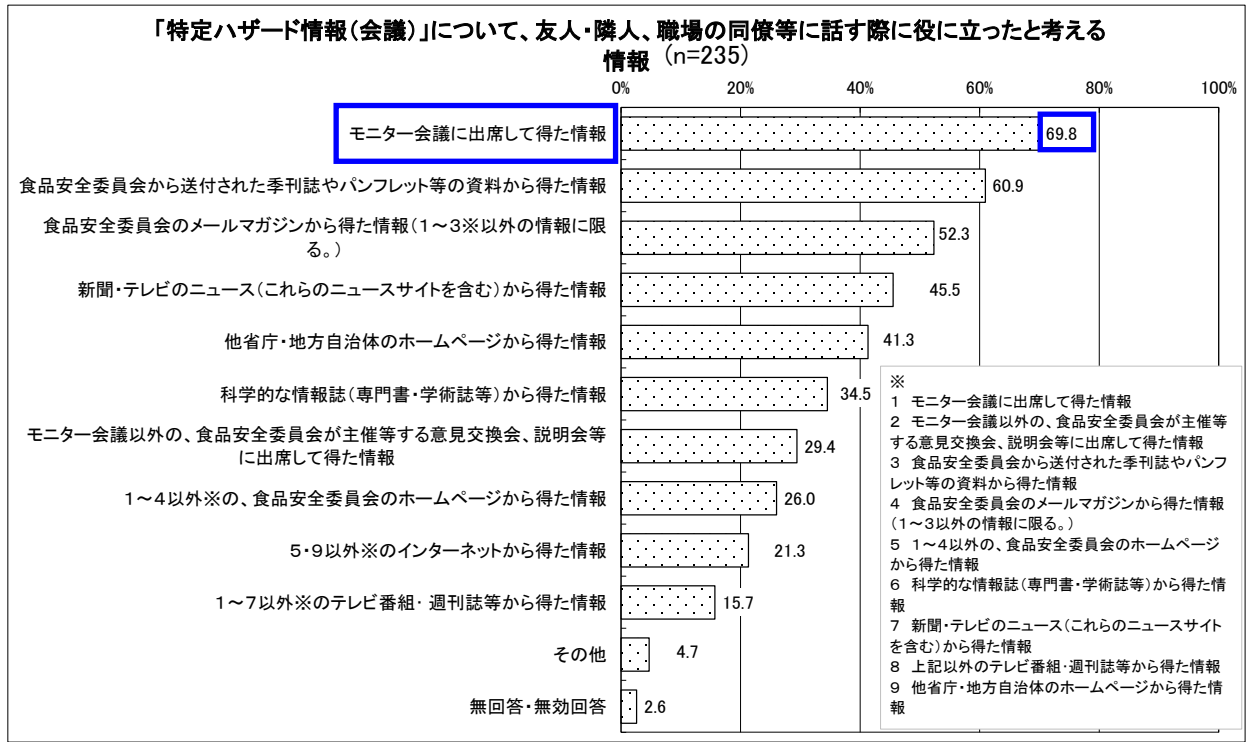
- ◆ 一般情報、行政取組情報及び特定ハザード情報（会議以外）について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。

「一般情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=344)



「行政取組情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=240)





⑥ 4種類の情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由  
(問6)

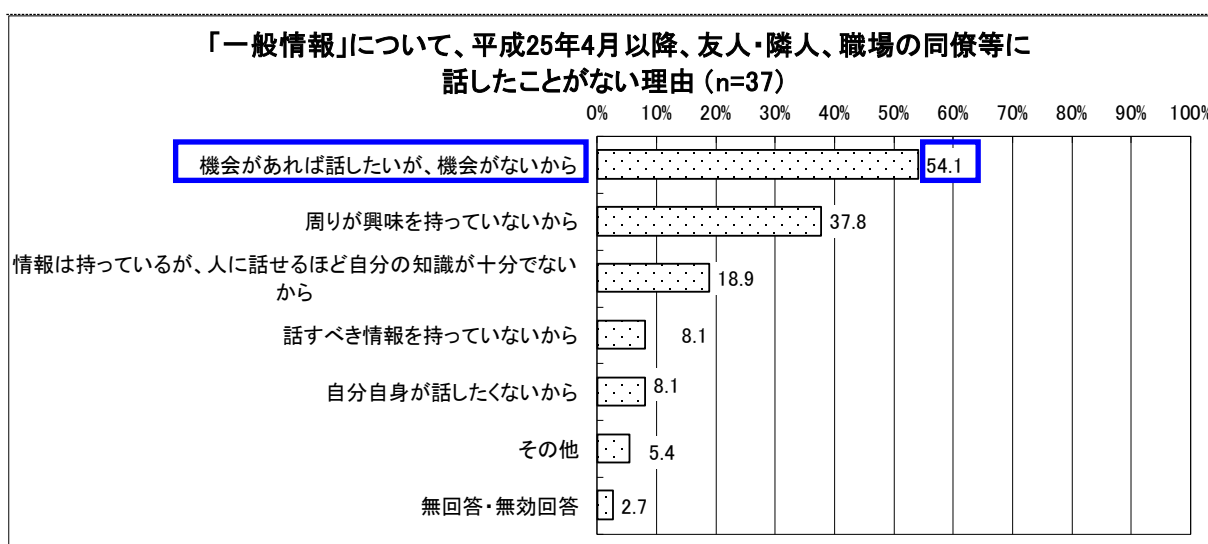
問6 問4で、4種類の情報のうち、「3 (話したことがない)」を選択した情報についてお伺いいたします。

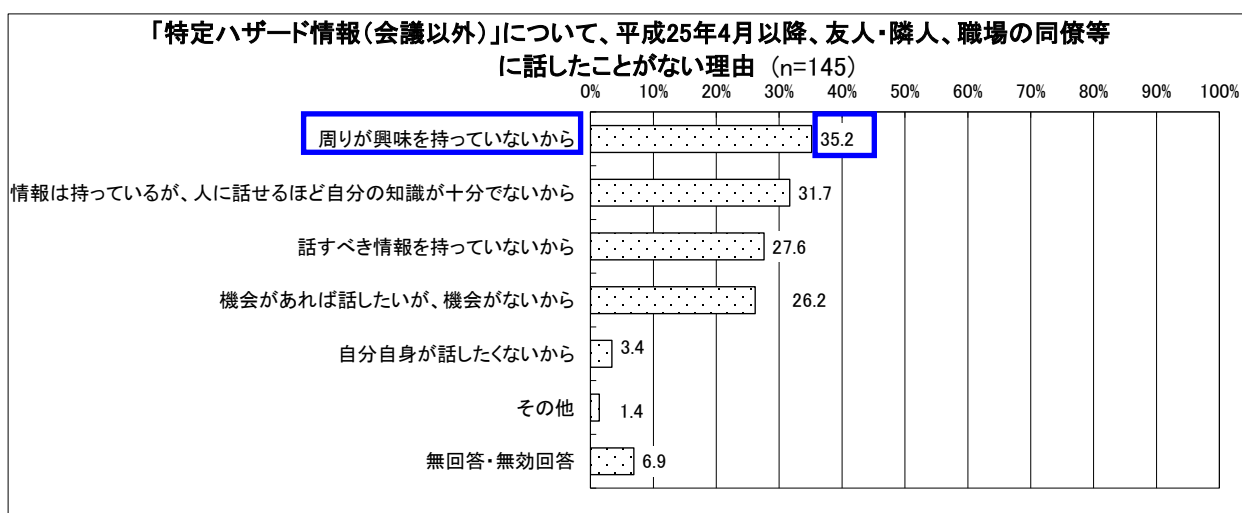
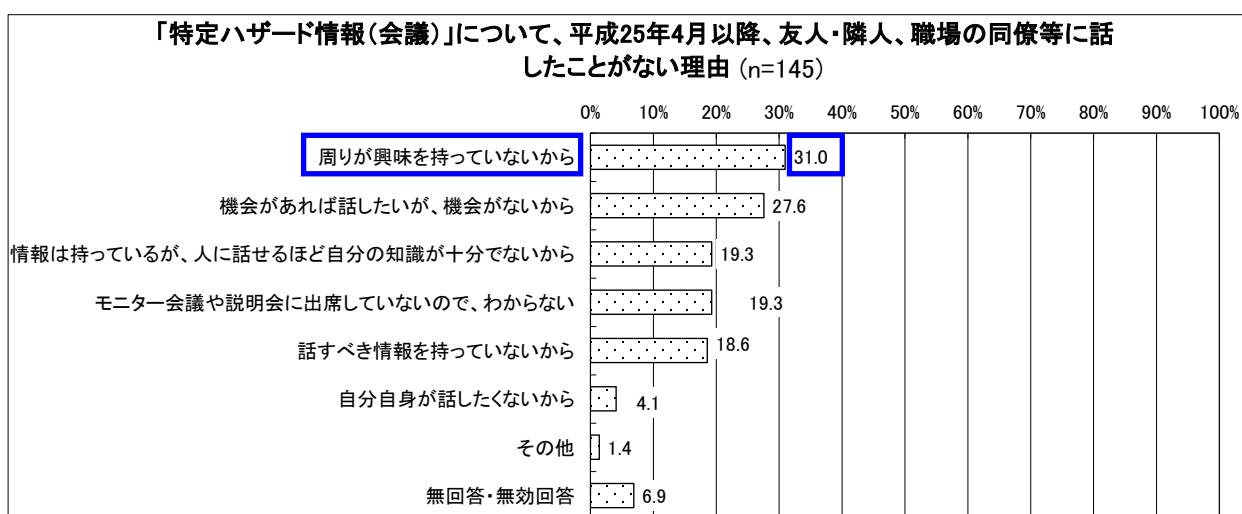
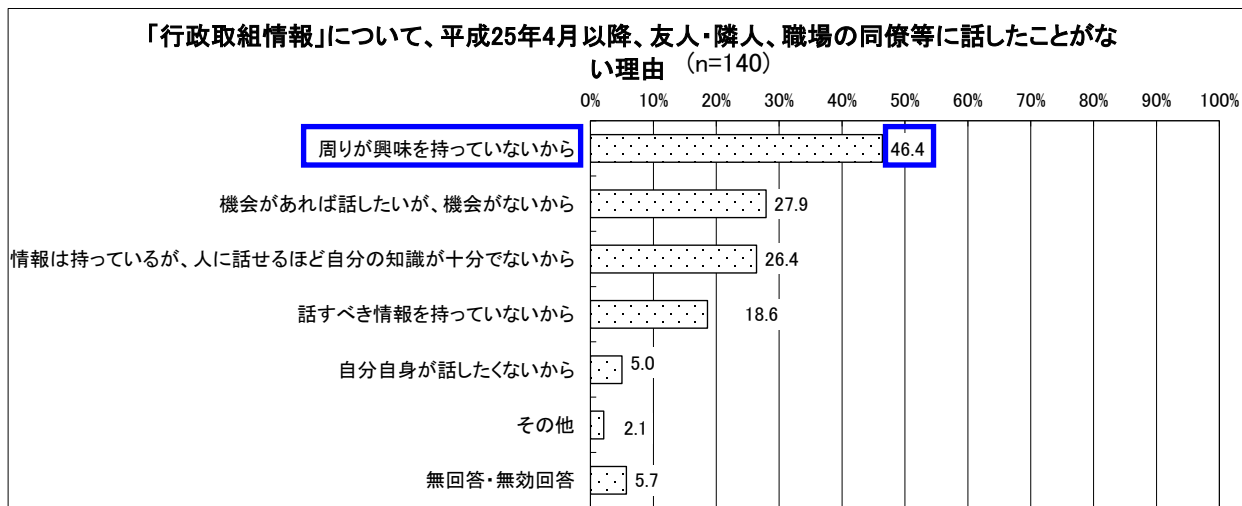
あなたが問4で「3 (話したことがない)」を選択した情報について、平成25年4月以降、友人、隣人、職場の同僚等に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢1～7の中からお選び下さい。

【選択肢】

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 周りが興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない (情報Cのみの選択肢)
- 7 その他 (具体的に記入)

- ◆ 一般情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由の回答割合は「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報、特定ハザード情報 (会議)、特定ハザード情報 (会議以外) について、平成25年4月以降、話したことがない理由の回答割合は「周りが興味を持っていないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。





⑦ 4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無（問7）

問7は全員お答え下さい。

問7 あなたは、食品安全モニターになってから、4種類の情報について、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演を行った（\*）ことがありますか。情報ごとに、選択肢1～3の中から1つずつお選び下さい。

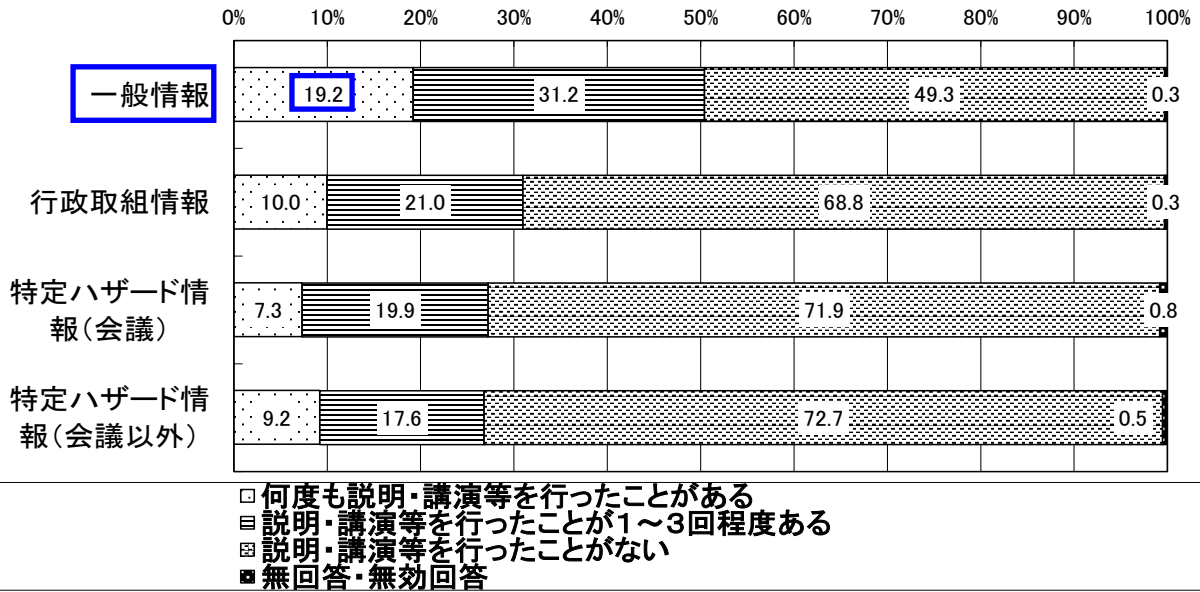
\* 「地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演」は、あなたが主な話し手となって、3人以上の方に対してあなたの知識等を伝えるような場を想定しています。（問8以降においても同じ）

【選択肢】

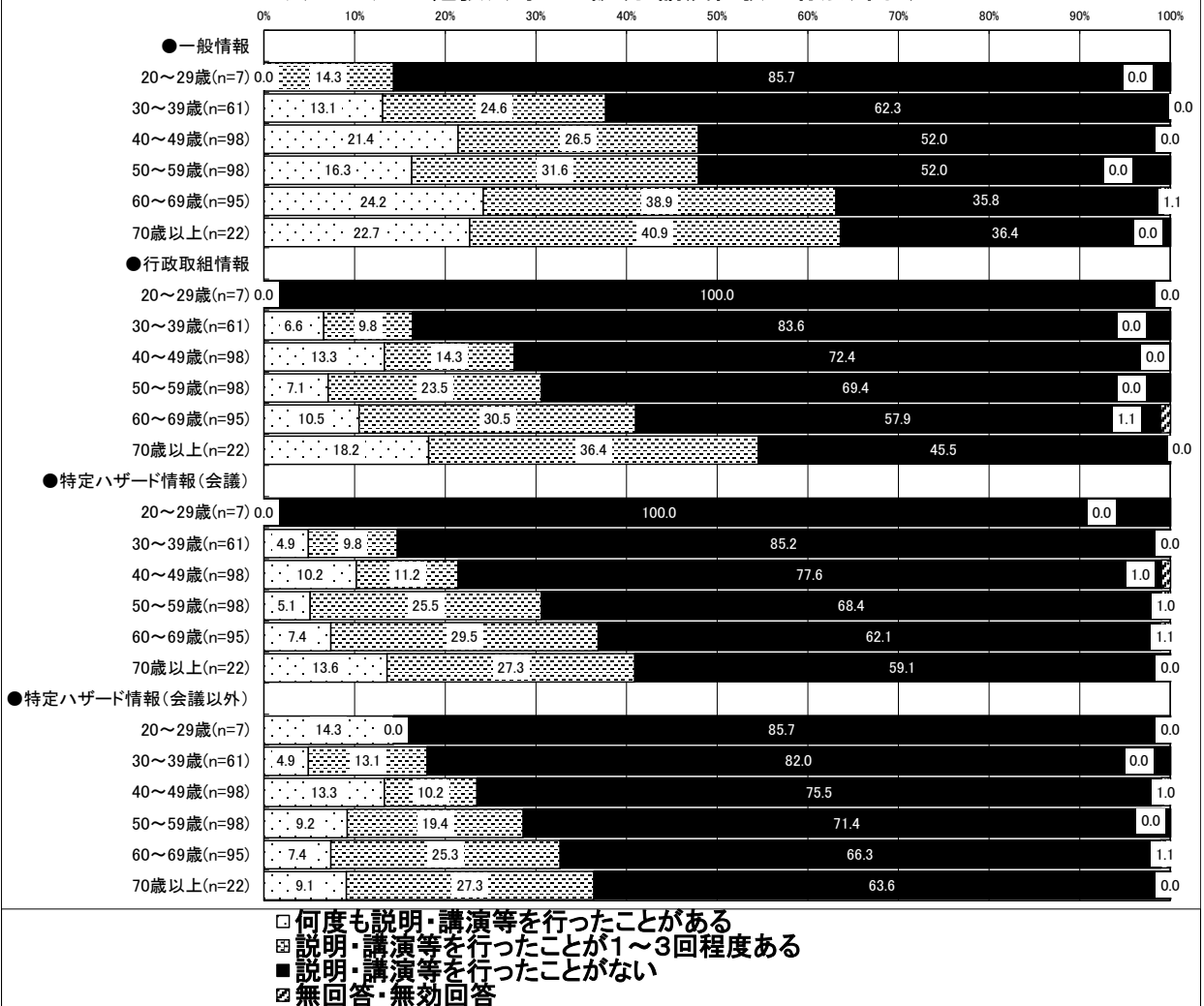
- 1 何度も説明・講演等を行ったことがある
- 2 説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある
- 3 説明・講演等を行ったことがない

- ◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合の合計は 19.2%であり、行政取組情報（10.0%）、特定ハザード情報（会議）（7.3%）、特定ハザード情報（会議以外）（9.2%）に比べると高い。また、「何度も話している」、「説明、講演等を行ったことがある」の合計をみると、一般情報については、約半数が「行ったことがある」との回答であった。
- ◆ また、年代別にみると、「何度も話している」、「説明、講演等を行ったことがある」の合計は、いずれの情報においても、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向がみられる。

4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無



4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無(年代)



**③ 4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料（問8）**

問8 問7で、4種類の情報のうち、「1（何度も説明・講演等を行ったことがある）又は「2（説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが選択した4種類の情報について、問7のような複数の人に対しての説明・講演等を行った際、配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料はどのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～15の中から、当てはまるものを全て選択して下さい。（配布等したが、相手の理解を深めるのに有用でなかったと考える資料は選択しないでください。）

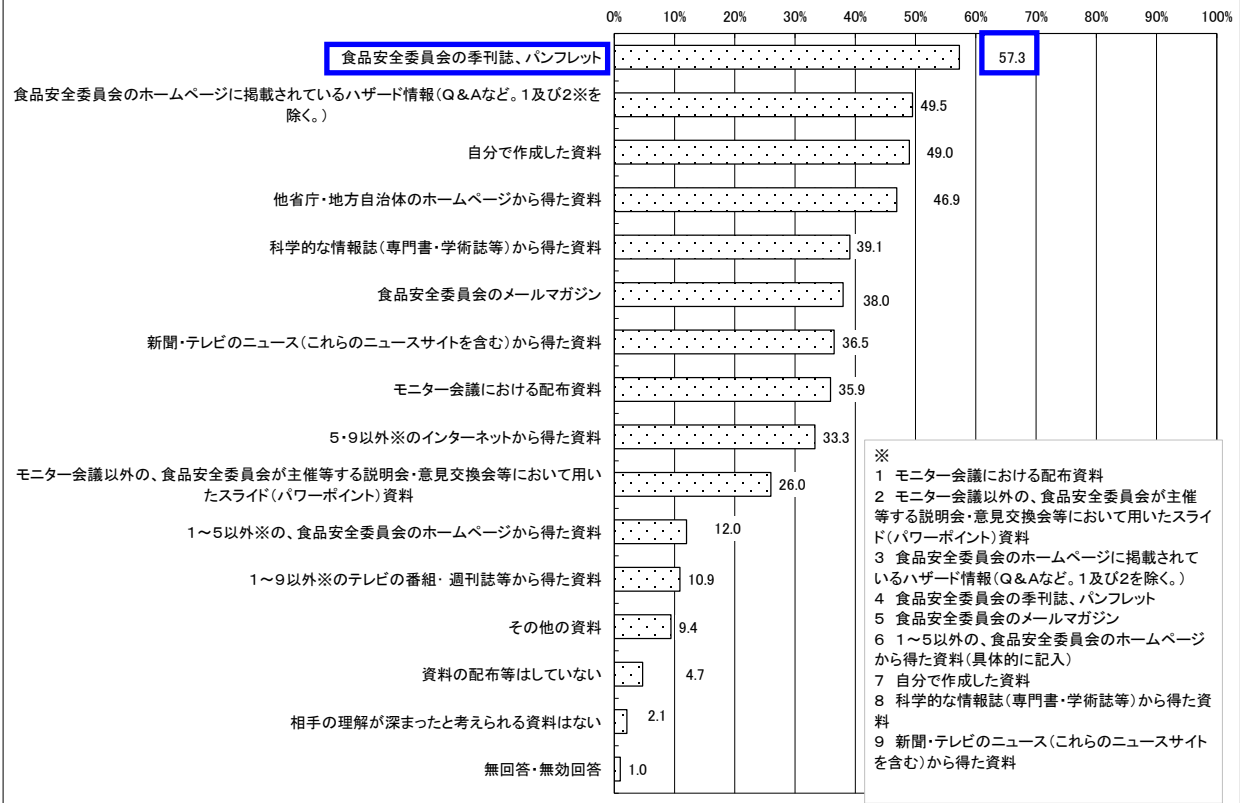
**【選択肢】**

- 1 モニター会議における配布資料
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料
- 3 食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）
- 4 食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- 5 食品安全委員会のメールマガジン
- 6 1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（具体的に記入）
- 7 自分で作成した資料
- 8 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料
- 9 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料
- 10 上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
- 11 他省庁・地方自治体のホームページから得た資料
- 12 5・9以外のインターネットから得た資料
- 13 その他の資料（具体的に記入）
- 14 相手の理解が深まったと考えられる資料はない
- 15 資料の配布等はしていない

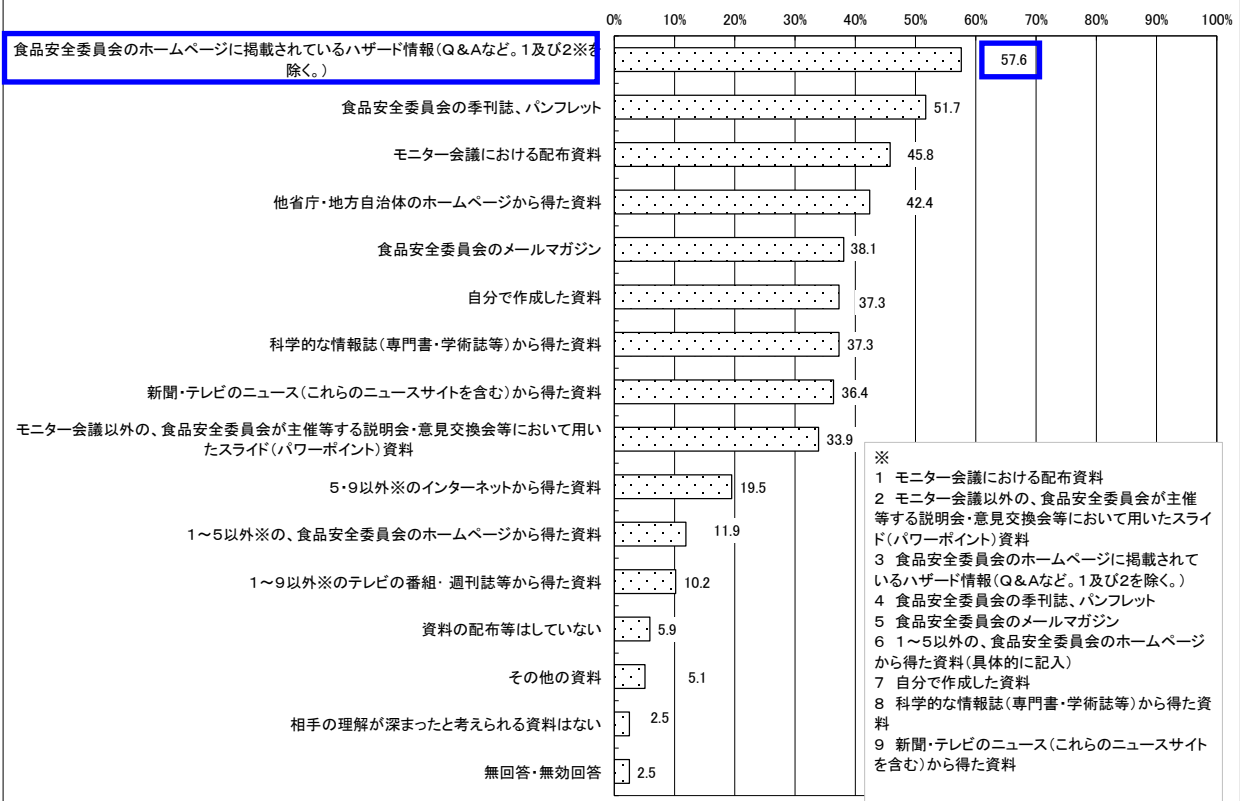
- ◆ 一般情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料についての回答割合は、「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」とが他の資料に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報、特定ハザード情報（会議）、特定ハザード情報（会議以外）については、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1（モニター会議における配布資料）及び2（モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料）を除く。以下同じ）」が他の資料に比べ高い。



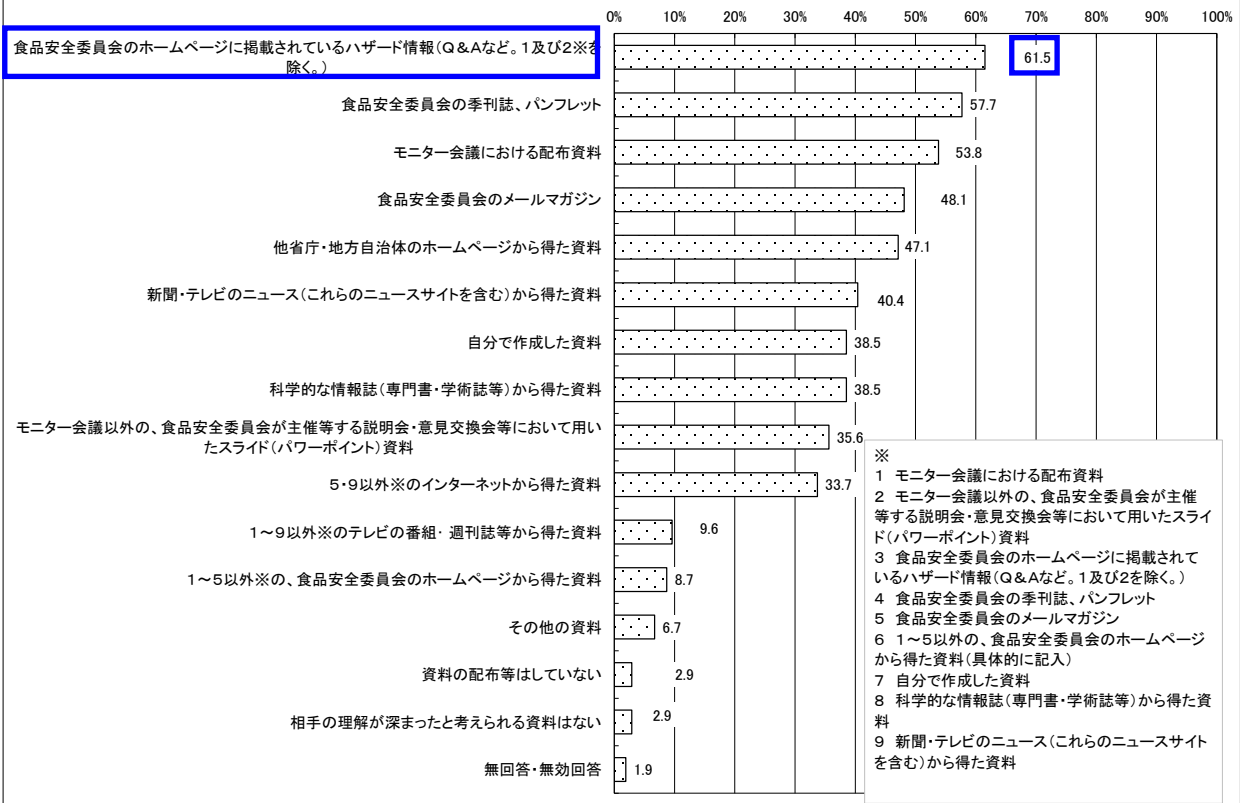
「一般情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=192)



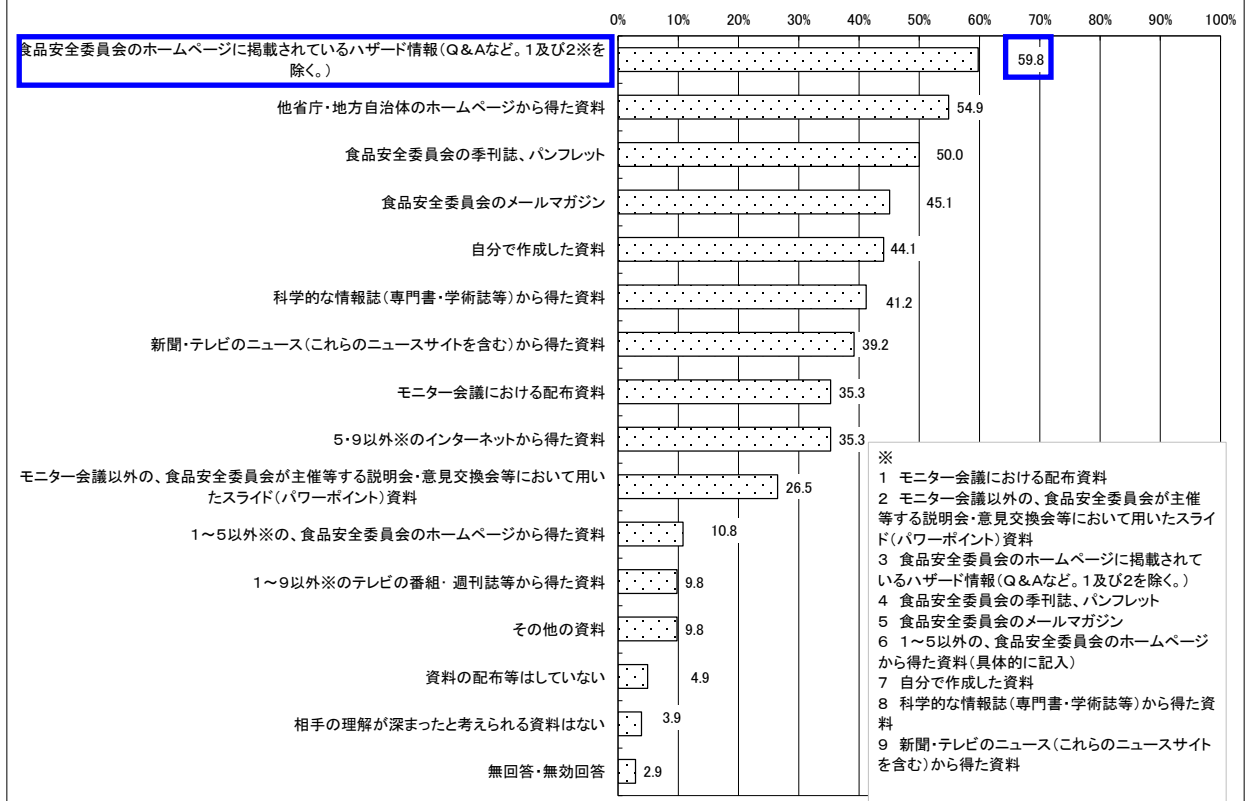
「行政取組情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=118)



「特定ハザード情報(会議)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=104)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=102)



⑨ 食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ（問9）

問9～11は全員お答え下さい。

問9 食品安全委員会から情報の提供があれば、家族や友人・隣人、職場の同僚等に、あなたがもっと話したいと思うテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

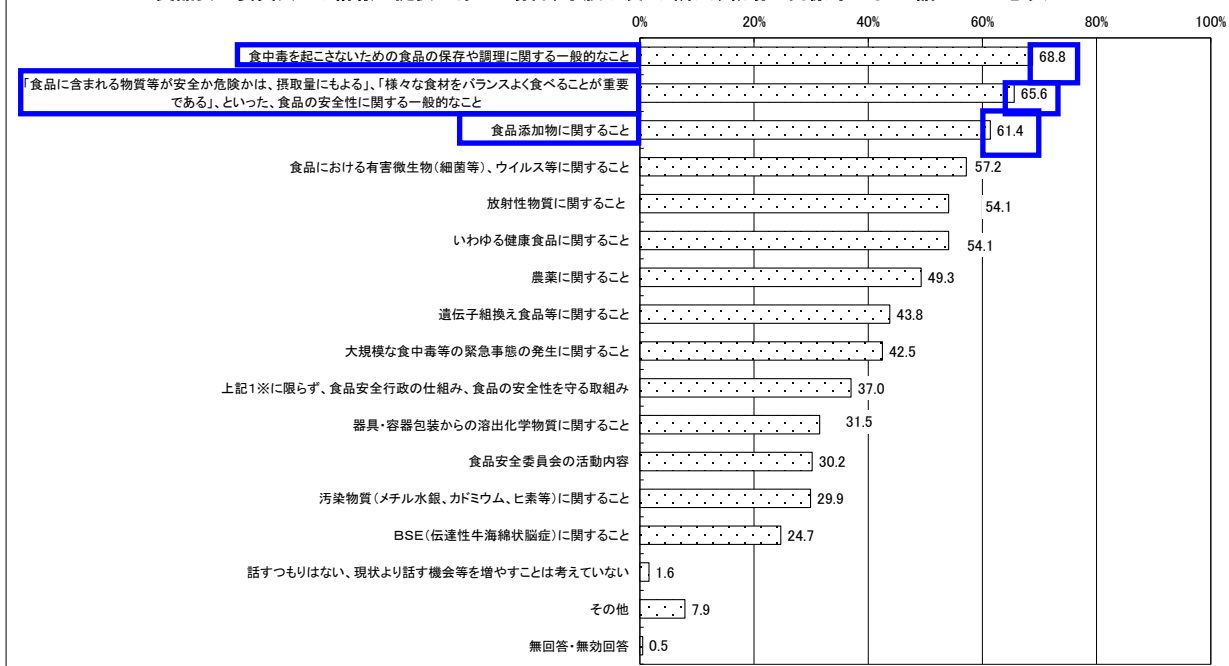
- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 B S E（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品※に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 話すつもりはない、現状より話す機会等を増やすことは考えていない

※ 「いわゆる健康食品」とは、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づく特定保健用食品及び栄養機能食品以外のもので、健康の保持又は増進に係る効果、機能等を表示して販売・利用されている食品を広く指しています。（問10も同じ）

例：「〇〇サプリ」「スーパースリムダイエット〇〇〇」など

- ◆ 食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマについての回答割合は、「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」が他のテーマに比べ高い。次いで、「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、『様々な食材をバランスよく食べることが重要である』、「食品の安全性に関する一般的なこと」、『食品添加物に関すること』の順に高い。

食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ



⑩食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ（問10）

問9～11は全員お答え下さい。

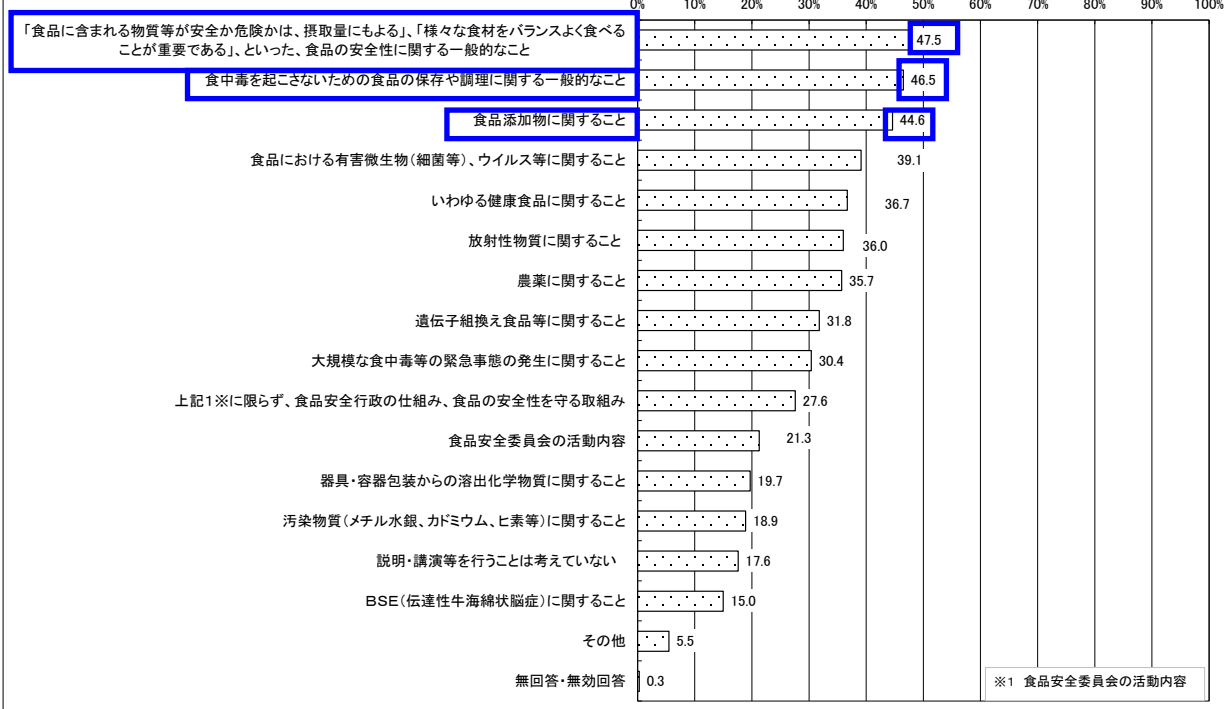
問10 食品安全委員会から情報の提供があれば、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で3人以上の方に対して説明・講演等を行いたいと考えるテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 BSE（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 説明・講演等を行うことは考えていない

- ◆ 食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマについての回答割合は、『食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる』、『様々な食材をバランスよく食べることが重要である』、といった、食品の安全性に関する一般的なことが他のテーマに比べ高い。次いで、「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」、「食品添加物に関すること」の順に高い。

食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ



## 2) モニター会議におけるグループ討議について

### ①平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ（問 11）

問 9～11 は全員お答え下さい。

問 11 あなたが、平成 25 年度のモニター会議のグループ討議において、グループでもっと話し合いたいと思ったテーマはありますか。出欠について選択肢 1 又は 2 の中から当てはまるものを選び、自由記入欄に、出席された方は、そのテーマを記述して下さい。欠席された方は、出席していたら話し合ってみたかったテーマがあれば記述して下さい。

#### 【選択肢】

- 1 平成 25 年度モニター会議に出席した
- 2 平成 25 年度モニター会議を欠席した

※選択肢 1 又は 2 を選んでから、自由記載欄に記入して下さい。

### 問 11：平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ

#### (1) 出席者が、もっと話し合いたいと思ったテーマ（回答者数=260 人、うち 104 人空欄）

平成 25 年度のモニター会議に出席したモニターが、会議においてもっと話し合いたいと思った内容は、「食の安全について」、「食中毒について」（防止対策など）、「放射性物質について」（食品への影響など）」といった内容が多くみられた。これに次いで、「モニターの情報提供・活動のあり方」についての回答がみられた。

#### (1) モニター会議の出席者がもっと話し合いたいと思ったテーマ

回答内容	回答数	回答内容	回答数
食品安全について	20	BSEについて	4
食中毒について	17	リスク分析・リスク管理について	4
放射性物質について	17	リスクコミュニケーションについて	4
情報提供のあり方について	12	食物アレルギーについて	3
モニターの情報提供・活動のあり方について	11	フードディフェンスについて	3
食品表示について	10	食品添加物について	2
モニター会議のあり方について	9	その他ハザード(農薬等)について	4
遺伝子組換えについて	6	その他	19
健康食品について	6	特になし・無回答	108

(2) 欠席者が、出席していた場合話し合いたかったテーマ（回答者数=121人、うち83人空欄）

平成25年度のモニター会議を欠席したモニターが、仮に当該会議に出席していた場合に会議において話し合ってみたかったとする内容は、「情報提供のあり方について」が最も多く、次いで「放射性物質について」、「モニターの情報提供・活動のあり方」であった。

(2) モニター会議の欠席者が、出席していた場合話し合いたかったテーマ

回答内容	回答数
情報提供のあり方について	8
放射性物質について	4
モニターの情報提供・活動のあり方について	4
食品安全について	3
健康食品について	3
食中毒について	2
その他ハザードについて	6
その他	7
特になし・無回答	84